

平成31年度 わげん保育園 相模原駅前 自己評価

1. 保育士の自己評価結果

【常勤職員】

- ① 「6.保護者や必要な関係機関と連携を取りながら一人ひとりの育ちを支える力」において、ほとんどの職員が A,B と評価することができた。しかし、まだ自信をもてない職員もみられる。
- ② 「10.学級経営・・・、11.園務分掌・・・企画立案する力」においては、安定したクラス運営や、園運営について会議等で建設的な発言ができる、という部分に不十分であると評価する職員が見られた。
- ③ 「16.乳幼児期の発達を踏まえた教材を研究する力」では、「様々なツールで情報を得て教材研究をしている」「職員間で教材研究についての情報共有し技術が高まるような取り組みについて」不十分であると評価している職員が見られた。
- ④ 他の項目では、ほとんどの職員が A 十分できている、B おおむねできている、の評価をすることができていた。

【非常勤職員】

- ⑤ 全体的に見て、自身の保育力を A,B と評価できる職員が多いが、C と評価している職員も少なからず見られた。
- ⑥ 3.4.7.13 の常勤保育士が中心となって話し合いを行い、計画して進めている部分については、フリーとして保育を行う非常勤保育士の評価が低くなっている。

2. 保育士の自己評価結果を受けての考察と来年度への課題

- ① 集団生活での困難(困り感)をもつ児童や、要保護・要支援家庭、ハイリスク家庭等の児童への対応や関係機関との連携について、多くの職員が経験したり身近に感じたりしてきた。そのため、昨年度に比べると対応への不安が軽減してきている。しかし、まだ自信がもてない職員がいることも分かった。
⇒保育士間で経験の蓄積を共有することで、全職員が不安を取り除き自信をもって対応できるようにしていく。
- ② クラス、園の運営について、自分の事として捉え建設的に意見を出している職員が殆どである。しかし、会議などで積極的に発言することが十分にできないと感じている職員もいる。
⇒自分の意見をもち建設的な発言ができるよう、日頃から職員間のコミュニケー

ションを密にし、話しやすい雰囲気を作っていく。

- ③ 個々に情報を得て教材研究をしたり研修で知識を得たりと意欲的に取り組んでいる職員が殆どである。しかし、それらを共有できる場が少ないと考えられる。
⇒研修や教材研究では、職員間での情報共有ができるようにし、互いに高め合える環境を整えていく。
- ④
- ⑤ 保育現場での保育士の姿と自己評価結果を合わせて考えると、自らに対して厳しい評価をしている保育士、より良い保育を目指している保育士が多いと感じた。
⇒引き続き現場保育士の意欲を高く保っていけるよう、上記の課題をしっかりと受け止め対応していく。
- ⑥ フリーで保育に入るため、自ら環境構成を整えたりリーダーとなって保育を進めたりすることが殆どない。また、常勤職員より一歩引いた立ち位置で保育を支えようとしてくれていることもうかがえる。
⇒担任が作成している書類などから個々の発達状況やねらいを確認し(書類の確認が難しい場合には、担任に確認するなどできるようにし)保育の連続性を意識して行けるような体制作りをしていく。また、保育の「三つの視点」「5領域」「幼児教育において育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」等、保育指針確認や自己研鑽の意識が高められるようにしていく。

3. 人権擁護のためのセルフチェック

個々の保育士が自身の保育を振り返り、改めて子どもとの関わりを再確認することができた。また、セルフチェックを通して個々の保育や子どもとのかかわりを振り返ることで、職員一人ひとりの良さと改善すべき点、目標などを考える機会となった。
⇒自己評価、人権擁護のためのセルフチェックを通して得たものを、来年度の保育に活かしていく。

保育士の自己評価

社会福祉法人 ワゲン福祉会
わげん保育園 相模原駅前
令和2年3月 実施

常勤職員 集計結果

評価は%で表記しています。

* チェックシート記入方法 *

1. チェックシートに沿って自己評価をする。

〔評価の目安〕

A ⇒ 十分できている

B ⇒ おおむねできている

C ⇒ 不十分である

2. 評価理由や気づきなどを記入する。

1. 保育理念の理解

NO.	評価基準・具体的な行動例	A	B	C	気付き・評価理由
1	保育理念(「和顔愛語」の精神をもとに、笑顔で明るく心身ともに健康な子どもを育む)・保育方針(主体性、協調性のある子を育む)を覚えている。	54.5	45.5	0	
2	保育理念(優しい笑顔でありのままの子どもを受け止め、思いやりのある言葉で子どもと関わる)・保育方針(子どもが自ら関わりたくなるような環境を整えることで「主体性」を、自分自身が大事にされていると感じられる保育をすることで、友達も大事に思い「協調性」を育む)の説明ができる。	18.2	72.8	0	
3	保育指針を理解した上で、保育理念・保育方針に基づき子ども理解を深め、保育計画を立てている。	36.4	63.4	0	

2. 子どもの主体的な学びを保障するための環境構成を行う力

NO.	評価基準・具体的な行動例	A	B	C	気付き・評価理由
1	あたたかなくつろぎの場やいきいきと活動できる場など、生活全体を捉え、様々な活動に取り組むことができる保育室の環境を工夫している。	54.5	45.5	0	
2	活動の展開に沿って、遊具や用具などの物的な環境を設定している。	36.4	63.6	0	
3	園内外の様々な環境を保育に取り入れ、豊かな体験ができるようにしている。	36.4	63.6	0	
4	異年齢の保育を積極的に取り入れ、保育環境に変化を作っている。	18.2	72.7	9.1	<ul style="list-style-type: none"> ・1. 2歳児間で散歩時に手を繋ぐなどのかかわりを持つ。 ・遊びの中で関りが持てるような工夫が必要。 ・進級に向けて、子どもが不安にならないよう担任保育士がついて異年齢活動を多く取り入れれば良かった。
5	保育室の美的環境、保健衛生に配慮している。	54.5	45.5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・室内の片づけや掃除をこまめに行い、不衛生にならないようチェックしている。
6	子どもの発達を見通し、子どもの主体的な活動を引き出す環境の構成をしている。	27.3	72.7	0	

7	子どもの発想や願いを受け止め、子どもと共に環境を作っている。	36.4	63.6	0	・子どもの思いを受け止め、満足できる遊びの環境が作れるよう準備が必要。
8	子どもの興味や関心を丁寧に読み取り、明日の遊びに向けて環境を再構成するよう努めている。	18.2	81.8	0	
9	自然の変化や季節の行事など、1年間の見通しをもって環境構成をしている。	36.4	54.5	9.1	・自然の変化が感じられるように戸外遊びを多く取り入れたり、絵本を通して季節の行事に関して子ども達に伝えたりしてきた。
10	子どもの実態に基づいた保育のねらいに即して、自分なりに工夫した環境構成をしている。 (遊び場、必要な教材の準備など)	18.2	81.8	0	
11	人権に配慮した保育環境を整えている。 (保育者の都合で保育をしていない)	18.2	81.8	0	
12	保育のねらい、内容に合わせて絵本や玩具などを変化させている。	36.4	63.6	0	・月案・週案に基づいて教材や絵本など設定しているが、年間を通して保育環境にあまり変化がない。 ・興味ある絵本を繰り返し読んだり、季節に合わせて本棚に入れる絵本を入れ替えたりした。

3.一人ひとりの子どもの特性や発達、ねらい等に適した援助を行う力

NO.	評価基準・具体的な行動例	A	B	C	気付き・評価理由
1	明るい笑顔で子どもを迎え、一人ひとりと、その子らしさが大切にされるコミュニケーションを心掛けている。	72.7	27.3	0	・子ども一人ひとりの生活が安心して過ごせるように環境を整えるよう心掛けている。
2	一人ひとりの特性や発達を捉え、適切なねらいをもって、その子らしさを大切にした援助をしている。	54.5	45.5	0	子どもの気持ちや思いを受け止め、寄り添いながら保育をするよう心掛けている。
3	「幼児教育において育みたい資質・能力」「3つの視点」「5領域」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を理解している。	27.3	63.6	9.1	
4	領域等のねらいを踏まえ、年間を通して計画的に保育を進めている。	27.3	72.7	0	
5	指導計画について理解しながら実践に繋げ	27.3	72.7	0	

	ている。				
6	自らの子どもとの関わりを意識しながら、自己評価、記録している。	36.4	63.6	0	
7	記録を通して、子どもの発達やその子らしさ、ねらいに即した援助であったかを振り返っている。	27.3	72.7	0	
8	反省・評価や記録の整理を通して、子ども理解を深めている。	27.3	72.7	0	
9	家庭での多様な生活や経験に合わせて援助を行い、主体性をもって意欲的に園での生活や遊びに取り組めるようにしている。	27.3	72.7	0	
10	1人ひとりに応じ、家庭と連携して、基本的生活習慣の定着や様々な人や物、事象への興味や関心を高めるための援助、工夫をしている。	27.3	72.7	0	
11	子どもの行動とその原因について理解し、その援助を工夫している。	45.5	54.5	0	
12	子どもの変化を敏感に受け止め、個性を把握し認めたい対応をしている。	54.5	45.5	0	

4. 「ねらい」に沿って指導を適切に展開し、改善する力

NO.	評価基準・具体的な行動例	A	B	C	気付き・評価理由
1	子どもの状態や発達の時期を理解し、子どもを起点にしたねらいを設定している。	36.4	63.6	0	
2	ねらいに沿った保育展開をしつつ、子どもの状況に応じて、柔軟性をもった対応をしている。	18.2	81.8	0	
3	予想外の子どもの活動を受け止め保育を展開することができている。	18.2	81.8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・準備不足、見通しの甘さから予想外の展開に対応できないことがある。 ・予想外のことも起こると思うので、そのことも考えながら保育を進めるようにしている。
4	子どもの思いに沿った援助と、良いこと悪いことを伝えていく指導を見極め、子どもに関わっている。	36.4	63.6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・良いことは十分に褒め、子どものやる気や意欲につなげる。いけないことは、なぜいけないのかを子どもの目線に合わせ、気持ちに寄り添いながらわかりやすい言葉で伝えるよう心掛けている。
5	週案と日案、長期と短期の指導計画との関	18.2	81.8	0	

	係を踏まえ、発達の見通しをもった実践が できている。				
6	子どもの発達や姿から保育を振り返って記 録し、ねらいに即した評価を行い週案等の 改善を行っている。	9.1	90.9	0	・振り返り、評価、反省の 時間を持ち職員間で共有 できる工夫が必要。
7	チーム保育を進めながら、他の職員と積極 的に話し合い実践を共有している。	63.6	27.3	9.1	・クラス内のコミュニケー ションを取るように心掛 けている。

5.地域の資源を活用し、指導の充実を図る力

NO.	評価基準・具体的な行動例	A	B	C	気付き・評価理由
1	地域の自然などを取り入れ、保育に活かし ている。	45.5	54.5	0	・散歩時などで自然と関 り、子ども達が興味を持 たものをもっと保育に取り 入れていくと良い。 ・こもれびの森を活用する ようにしている。
2	挨拶などから地域の方との関わりをもち、 自らの保育に活かせるように心掛けてい る。	54.5	45.5	0	・保育者が積極的に挨拶す ることにより、子ども達も 真似をして同じように挨拶 などをし積極的に関わる 姿が増えた。 ・保育者が積極的に挨拶す ることで子ども達も真似 をして自らが率先して挨拶 するなど関わろうとする 姿勢を育てていきたい。

6.保護者や必要な機関と連携を取りながら一人ひとりの育ちを支える力

NO.	評価基準・具体的な行動例	A	B	C	気付き・評価理由
1	障害のある子どもや集団生活において困難 さをもつ子どもについて、職員との連携の 中でその子の困難さを理解している。	18.2	72.7	9.1	・クラス担任以外の職員で も、情報共有し、理解し、 適切な援助ができるよう にしていく。 ・その子の発達を理解しな がら、どのように保育を進 めていけば良いのか話し 合っている。
2	子どもの情緒の安定を図るため、保育を工 夫し、可能な限り子どもの困難さを排除し ている。	18.2	81.8	0	
3	要保護家庭、要支援家庭、ハイリスク家庭等 の子どもや保護者の変化に気付くことが できる。(上記のような家庭や保護者がいた場	0	90.9	9.1	・担任任せになってしまう ことが多い。

	合)				
4	園内で情報共有しながら関係機関との連携に必要な記録をまとめることができる。(他機関との連携が必要な事例があった場合)	9.1	81.8	9.1	
5	関係機関との連携を取っていくことができる。(他機関との連携が必要な事例があった場合)	9.1	81.8	9.1	

7.発達や学びの連続性を見通し、指導する力

NO.	評価基準・具体的な行動例	A	B	C	気付き・評価理由
1	園の全体的な計画を理解し、乳児期の発達に沿った保育を展開している。	18.2	81.8	0	
2	保育指針について理解を深めるよう努力している。	36.4	63.6	0	
3	各年齢の経験や育ちが幼児期の終わりのどのような姿に繋がっていくのかを理解しながら、乳児期にふさわしい活動の展開をしている。	18.2	81.8	0	

8.在園児の保護者に対して、子育てを支援する力

NO.	評価基準・具体的な行動例	A	B	C	気付き・評価理由
1	保護者が相談しやすいように支援者としての姿勢を明示するとともに、話しやすい雰囲気を作ることができている。	36.4	63.6	0	・安心して話しやすい雰囲気を作り、保護者の気持ちを理解して頷いたり、やさしい言葉で伝えるよう心掛けている。
2	保護者からの悩みや心配事などの相談や突発的な問題について、園内で情報を共有しながら適切に対応している。	36.4	63.6	0	
3	積極的に保護者とコミュニケーションを取り、保育の理解を得ている。	36.4	63.6	0	
4	保護者との良好な関係を築き、本音で話せる関係を築けるよう努めている。	18.2	81.8	0	・保護者のちょっとした変化(髪型を変えた etc.)に気付き、そこからコミュニケーションを取るよう努力している。
5	一人ひとりの子どもやクラスの遊び、友達との関わり、生活の様子を把握し、連絡帳やクラス便りなどを通して保護者に知らせることができる。	63.6	36.4	0	・各クラスの様子も把握し、理解できるようにして保護者の方に伝えられるよう努めている。
6	食事、排泄、遊び、子どもとの関わり方など、一人ひとりの子どもや保護者の状況に応じた適切な助言ができる。	36.4	63.6	0	

9.地域の子育て家庭などを支援する力

NO.	評価基準・具体的な行動例	A	B	C	気付き・評価理由
1	地域交流会や園見学など、園を訪れる地域の保護者に対して親しみをもち、気持ち良い挨拶や温かい雰囲気と接することができる。	63.6	36.4	0	
2	地域の保護者からのニーズがあった場合、適切な情報提供や助言ができる。	18.2	81.8	0	

10.学級経営に関わる事務を的確に処理する力

NO.	評価基準・具体的な行動例	A	B	C	気付き・評価理由
1	出席簿や健康に関する書類、安全点検表など、日々の記載が適切にできている。	54.5	45.5	0	
2	保育に関わる帳票類への記載を期限内に適切に行っている。	45.45	45.45	9.1	<ul style="list-style-type: none"> ・期限内に記載が難しい時は、他の職員がフォローしていく。 ・遅れてしまうこともあったが、期限内で提出する気持ちは持っていた。
3	記録を子ども達の育ちへ繋げていくための資料とすることができている。	45.5	54.5	0	
4	安定したクラス経営ができている。	27.3	63.6	9.1	

11.園務分掌とその内容を理解し、企画立案する力

NO.	評価基準・具体的な行動例	A	B	C	気付き・評価理由
1	担当分掌を責任もって企画、立案、遂行している。	54.5	45.5	0	
2	担当した業務について振り返り、評価することができる。	36.4	63.6	0	
3	自分の役割を自覚できる。	63.6	36.4	0	
4	園務の一部を担い、園の組織についての理解を深めている。	36.4	63.6	0	
5	園の運営について自分のこととして考え、会議等において建設的な発言ができる。	18.2	72.7	9.1	

12.上司や同僚と協働して、円滑に園務を遂行する力

NO.	評価基準・具体的な行動例	A	B	C	気付き・評価理由
1	明るい挨拶や豊かな表情で、気持ちよく仕事ができるよう心掛けている。また、保育園組織の中での自分の役割を意識して仕事に取り組んでいる。	81.8	18.2	0	
2	職員の中で、自分の思いや考えを積極的に伝えている。	18.2	81.8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス会議等を通して自分の思いを伝えようと心掛けている。
3	自分から積極的に他の職員との協力・協働ができている。	36.4	63.6	0	

4	他の職員の悩みやつまずきを一緒に悩んだり考えたり、必要に応じて上司に伝えたりできる。	45.5	54.5	0	
5	研修で学んだことを園内で共有できている。	45.5	54.5	0	
6	必要に応じて上司に報告、連絡、相談し、円滑に園務を遂行できるようにしている。	54.5	45.5	0	

13.子どもが安心して過ごすことができる施設や遊具の安全な環境を整える力

NO.	評価基準・具体的な行動例	A	B	C	気付き・評価理由
1	園が作成した様々なマニュアル・ガイドラインを理解している。	36.4	63.6	0	・疑問に思ったときや不明なことがあった時、その都度、目を通して確認するようにしている。
2	危機管理を意識し、それに沿った環境を整えている。	54.5	45.5	0	
3	保育前の安全点検全般の確認を行っている。	54.5	45.5	0	・子ども達が安全に過ごせるよう確認している。
4	自然災害発生時の個々の動き、園全体の動きを意識し、訓練時には確実に実践している。	54.5	45.5	0	
5	不審者対応などについて、個々の動き、園全体の動きを意識し、訓練時には確実に実践している。	45.5	54.5	0	
6	アレルギーや与薬等、一人ひとりの状況を把握し確認しつつ対応するとともに、マニュアル・ガイドラインに沿った環境構成をしている。	36.4	63.6	0	
7	子どもの動線や清潔に配慮した環境構成をしている。	54.5	45.5	0	
8	子どもの心身の状態、体調、怪我等子どもの変化を読み取り、適切な対応と共に上司への報告ができている。	54.5	45.5	0	・合同保育もあるため、子どもの様子が把握できるよう伝えている。

14.家庭や地域と連携し、子どもが危険から身を守り安全に行動できるように指導する力

NO.	評価基準・具体的な行動例	A	B	C	気付き・評価理由
1	園内外での安全や命を守るためのきまりについて、子どもの発達に応じて子どもに理解させ、安全と危険の違いについての指導ができる。	27.3	72.7	0	・分かりやすく丁寧に説明して理解させ、子ども達が納得できるまで繰り返し(機会があるたびに)伝えていく。
2	災害や事故などの際に行動できるよう、訓練を活かし日頃から工夫するよう意識している。	36.4	63.6	0	

3	園外活動の際には、自ら地域の方に気持ちよく挨拶をするなどを通して交流をもつとともに、万が一の際に避難させて頂ける場所を確認している。	45.5	54.5	0	
4	地域での事件等や災害時など、保護者に情報を提供している。	45.5	54.5	0	

15.保育者として自分の課題を発見し、自己研鑽していく力

NO.	評価基準・具体的な行動例	A	B	C	気付き・評価理由
1	日々の保育を楽しむ工夫をし、実践に繋がっている。	27.3	72.7	0	
2	自分の保育を高める努力をしている。	45.5	54.5	0	
3	保護者に保育の内容を説明できる力を付ける努力をしている。	27.3	72.7	0	
4	研修に参加し自身が学ぶとともに、職員間でも共有できるよう努めている。	45.5	54.5	0	

16.乳幼児期の発達や学びを踏まえた教材研究をする力

NO.	評価基準・具体的な行動例	A	B	C	気付き・評価理由
1	子どもの発達に合った遊具や用具を自分なりに工夫して準備している。	27.3	72.7	0	・子ども達が気になっていることや、ごっこ遊びに繋がりがちなものを準備している。
2	新しいものを取り入れる努力をしている。	27.3	72.7	0	・新しいものを取り入れる前には、担任間で相談している。
3	子どもの発達を促すような遊具や用具を考え準備をしている。	27.3	72.7	0	・資料や研修等で得た知識を他の職員の協力を得て作ることで活用していきたい。
4	研修や書籍等、様々なツールで情報を得て、教材研究をしている。	9.1	81.8	9.1	・書籍等で個々に情報を得たものを職員間で共有し話し合える環境を整えていく。 ・本や研修で受けた資料を参考にしている。
5	職員間で教材研究について情報共有し、技術が高まるような取り組みをしている。	9.1	81.8	9.1	・他の職員が作ったものでも子ども達が興味をもったものであれば、何度も活用していくべきで「他の職員が作ったものだから」と活用しないのはもったいない。

保育士の自己評価

社会福祉法人 ワゲン福祉会
わげん保育園 相模原駅前
令和2年3月 実施

非常勤職員 集計結果

評価は%で表記しています。

※斜線部分は全員からの回答が得られなかったため集計していません。

* チェックシート記入方法 *

1. チェックシートに沿って自己評価をする。

〔評価の目安〕

- A ⇒ 十分できている
- B ⇒ おおむねできている
- C ⇒ 不十分である

2. 評価理由や気付きなどを記入する。

1. 保育理念の理解

NO.	評価基準・具体的な行動例	A	B	C	気付き・評価理由
1	保育理念(「和顔愛語」の精神をもとに、笑顔で明るく心身ともに健康な子どもを育む)・保育方針(主体性、協調性のある子を育む)を覚えている。	0	100	0	・笑顔で優しい言葉を子どもにかけることは、自分自身の心も優しくすることになる。常に意識したい。
2	保育理念(優しい笑顔でありのままの子どもを受け止め、思いやりのある言葉で子どもと関わる)・保育方針(子どもが自ら関わりたくなるような環境を整えることで「主体性」を、自分自身が大事にされていると感じられる保育をすることで、友達も大事に思い「協調性」を育む)の説明ができる。	0	83.3	16.7	・自分自身が大切にされる経験なく育つと、相手も大切にすることもできない人間になると思う。「協調性」を無くして世の中を幸せに生きるのは困難になる。 ・不十分だと感じるので今後保育理念、方針をしっかりと覚える努力をしたい。
3	保育指針を理解した上で、保育理念・保育方針に基づき子ども理解を深め、保育計画を立てている。				

2. 子どもの主体的な学びを保障するための環境構成を行う力

NO.	評価基準・具体的な行動例	A	B	C	気付き・評価理由
1	あたたかなくつろぎの場やいきいきと活動できる場など、生活全体を捉え、様々な活動に取り組むことができる保育室の環境を工夫している。				・手作りのもので温かさを伝えられたら良いなと思っている。 ・いきいきと活動できる場であるように考えている。
2	活動の展開に沿って、遊具や用具などの物的な環境を設定している。	0	83.3	16.7	
3	園内外の様々な環境を保育に取り入れ、豊かな体験ができるようにしている。				・興味が広がるように考えている。
4	異年齢の保育を積極的に取り入れ、保育環境に変化を作っている。				
5	保育室の美的環境、保健衛生に配慮している。	16.7	83.3	0	・玩具や保育室消毒等 ・環境整備は重要な仕事 ・衛生を心掛けている。
6	子どもの発達を見通し、子どもの主体的な活動を引き出す環境の構成をしている。				・興味を示しそうな玩具を用意するようにした。
7	子どもの発想や願いを受け止め、子どもと共に環境を作っている。				・共に楽しめるように考えている。 ・子どもがやりたいことを考え、遊びやその考えが

					広がるような環境を作りたい。
8	子どもの興味や関心を丁寧に読み取り、明日の遊びに向けて環境を再構成するよう努めている。				・子どもが興味のある遊びを展開できるとさらに良いと思った。(電車⇒プラレールだけではなくブロックと繋げて大きな街にして走らせるなど)
9	自然の変化や季節の行事など、1年間の見直しをもって環境構成をしている。				
10	子どもの実態に基づいた保育のねらいに即して、自分なりに工夫した環境構成をしている。 (遊び場、必要な教材の準備など)				・教材の準備はきちんと整ったうえで子どもにおろすと良い。子どもができるできないを予測したうえで準備する。
11	人権に配慮した保育環境を整えている。 (保育者の都合で保育をしていない)	0	83.3	16.7	
12	保育のねらい、内容に合わせて絵本や玩具などを変化させている。				・季節物の絵本や子ども達に興味を持ってもらいたい本を事前に置くとさらに良いと思う。

3.一人ひとりの子どもの特性や発達、ねらい等に適した援助を行う力

NO.	評価基準・具体的な行動例	A	B	C	気付き・評価理由
1	明るい笑顔で子どもを迎え、一人ひとりと、その子らしさが大切にされるコミュニケーションを心掛けている。	66.7	33.3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・フリーとして時々しか保育に入らないため、その子がどこまで受け入れてくれるか見極めながらコミュニケーションをとるようにした。 ・どの子に対しても平等に笑顔で接する。 ・笑顔で接することを心掛けている。 ・常に一人ひとりの子どもを大切に思い、笑顔で保育をしたいと心掛けている。
2	一人ひとりの特性や発達を捉え、適切なねらいをもって、その子らしさを大切に援助をしている。	33.3	50	16.7	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の中で、この子にどのような対応が合うのかを考えながら援助をするようにした。 ・その子らしさを大切に

					したいと思っ接している。
3	「幼児教育において育みたい資質・能力」 「3つの視点」「5領域」「幼児期の終わり までに育てほしい姿」を理解している。	16.7	33.3	50	<ul style="list-style-type: none"> ・5領域、今一度勉強する。 ・理解する努力が足りないの今後理解を深めたい。
4	領域等のねらいを踏まえ、年間を通して計 画的に保育を進めている。				
5	指導計画について理解しながら実践に繋げ ている。				
6	自らの子どもとの関わりを意識しながら、 自己評価、記録している。				
7	記録を通して、子どもの発達やその子らし さ、ねらいに即した援助であったかを振り 返っている。				<ul style="list-style-type: none"> ・クラス会議録を参考に、その子にあ合った対応をいろいろ試しながら行っていた。 ・次にはもっと良い援助ができるように考えている。
8	反省・評価や記録の整理を通して、子ども 理解を深めている。				・クラス会議録に目を通し、理解を深めている。
9	家庭での多様な生活や経験に合わせて援助 を行い、主体性をもって意欲的に園での生 活や遊びに取り組めるようにしている。	0	66.7	33.3	
10	1人ひとりに応じ、家庭と連携して、基本 的生活習慣の定着や様々な人や物、事象へ の興味や関心を高めるための援助、工夫を している。				
11	子どもの行動とその原因について理解し、 その援助を工夫している。	0	66.7	33.3	<ul style="list-style-type: none"> ・試行錯誤しながらその子にあった対応をしていた。 ・問題行動には理由がある。
12	子どもの変化を敏感に受け止め、個性を把 握し認め対応をしている。	16.7	50	33.3	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの行動を否定的に捉えず、認めて展開できるように心掛けた。 ・個性を認めることが自己肯定につながる。 ・子どもの気持ちに寄り添いたいと思っている。 ・子どもの気持ちは受け止めつつ、放置ではなく見

					守りや声掛けは必要。
--	--	--	--	--	------------

4.「ねらい」に沿って指導を適切に展開し、改善する力

NO.	評価基準・具体的な行動例	A	B	C	気付き・評価理由
1	子どもの状態や発達の時期を理解し、子どもを起点にしたねらいを設定している。				・子どもの発達を見逃さないようにしている。
2	ねらいに沿った保育展開をしつつ、子どもの状況に応じて、柔軟性をもった対応をしている。				・子どもの発想を大切に、一緒に楽しんだり、展開できるよう心掛けた。 ・子ども一人ひとりの状態を考え対応している。
3	予想外の子どもの活動を受け止め保育を展開することができている。	16.7	50	33.3	
4	子どもの思いに沿った援助と、良いこと悪いことを伝えていく指導を見極め、子どもに関わっている。	16.7	50	33.3	・メリハリをつけて行動できるようにしてほしいという思いで接していた。 ・思いに寄り添うことと、善悪の区別は難しいが子育てには大切なこと。 ・子どもの思いに寄り添った言葉で伝えるように考えている。
5	週案と日案、長期と短期の指導計画との関係を踏まえ、発達の見通しをもった実践ができている。				
6	子どもの発達や姿から保育を振り返って記録し、ねらいに即した評価を行い週案等の改善を行っている。				
7	チーム保育を進めながら、他の職員と積極的に話し合い実践を共有している。				・フリーなので、分からないことや動き等は担任に確認しながら行うようにした。 ・自分で判断せずに他の職員の指示に従うようにしている。 ・子どもとの接し方等、話を聞いている。

5.地域の資源を活用し、指導の充実を図る力

NO.	評価基準・具体的な行動例	A	B	C	気付き・評価理由
1	地域の自然などを取り入れ、保育に活かしている。				・自然での遊びをもっと取り入れると良いと思った。 (草笛、お花での染め物、ダンゴムシレストランなど)

2	挨拶などから地域の方との関わりをもち、自らの保育に活かせるように心掛けている。	0	83.3	16.7	
---	---	---	------	------	--

6.保護者や必要な機関と連携を取りながら一人ひとりの育ちを支える力

NO.	評価基準・具体的な行動例	A	B	C	気付き・評価理由
1	障害のある子どもや集団生活において困難さをもつ子どもについて、職員との連携の中でその子の困難さを理解している。	/	/	/	・その子どもに沿った援助について、担任から話を聞いている。
2	子どもの情緒の安定を図るため、保育を工夫し、可能な限り子どもの困難さを排除している。	/	/	/	・困難さを感じさせないように、子どものペースに合わせた保育をしている。
3	要保護家庭、要支援家庭、ハイリスク家庭等の子どもや保護者の変化に気付くことができる。(上記のような家庭や保護者がいた場合)	/	/	/	
4	園内で情報共有しながら関係機関との連携に必要な記録をまとめることができる。(他機関との連携が必要な事例があった場合)	/	/	/	
5	関係機関との連携を取っていくことができる。(他機関との連携が必要な事例があった場合)	/	/	/	

7.発達や学びの連続性を見通し、指導する力

NO.	評価基準・具体的な行動例	A	B	C	気付き・評価理由
1	園の全体的な計画を理解し、乳児期の発達に沿った保育を展開している。	16.7	33.3	50	
2	保育指針について理解を深めるよう努力している。	0	66.7	33.3	・保育所保育指針のハンドブックを参照する。
3	各年齢の経験や育ちが幼児期の終わりのどのような姿に繋がっていくのかを理解しながら、乳児期にふさわしい活動の展開をしている。	0	66.7	33.3	

8.在園児の保護者に対して、子育てを支援する力

NO.	評価基準・具体的な行動例	A	B	C	気付き・評価理由
1	保護者が相談しやすいように支援者としての姿勢を明示するとともに、話しやすい雰囲気を作ることができている。	/	/	/	・保護者が話しかけやすい雰囲気を作ることを心掛けている。
2	保護者からの悩みや心配事などの相談や突発的な問題について、園内で情報を共有しながら適切に対応している。	/	/	/	
3	積極的に保護者とコミュニケーションを取り、保育の理解を得ている。	/	/	/	・積極的なコミュニケーションは取れていないと思うので頑張りたい。
4	保護者との良好な関係を築き、本音で話せる	/	/	/	

	関係を築けるよう努めている。				
5	一人ひとりの子どもやクラスの遊び、友達との関わり、生活の様子を把握し、連絡帳やクラス便りなどを通して保護者に知らせることができる。				・保護者とのかかわりは少ないが、連絡帳を通して伝えるようにしている。
6	食事、排泄、遊び、子どもとの関わり方など、一人ひとりの子どもや保護者の状況に応じた適切な助言ができる。				

9.地域の子育て家庭などを支援する力

NO.	評価基準・具体的な行動例	A	B	C	気付き・評価理由
1	地域交流会や園見学など、園を訪れる地域の保護者に対して親しみをもち、気持ち良い挨拶や温かい雰囲気と接することができる。				・明るいあいさつで接するように心がけている。
2	地域の保護者からのニーズがあった場合、適切な情報提供や助言ができる。				・孤立無援で子育てに悩む親の手助けが必要

10.学級経営に関わる事務を的確に処理する力

NO.	評価基準・具体的な行動例	A	B	C	気付き・評価理由
1	出席簿や健康に関する書類、安全点検表など、日々の記載が適切にできている。				
2	保育に関わる帳票類への記載を期限内に適切に行っている。				
3	記録を子ども達の育ちへ繋げていくための資料とすることができる。				
4	安定したクラス経営ができている。				

11.園務分掌とその内容を理解し、企画立案する力

NO.	評価基準・具体的な行動例	A	B	C	気付き・評価理由
1	担当分掌を責任もって企画、立案、遂行している。				
2	担当した業務について振り返り、評価することができる。				
3	自分の役割を自覚できる。				
4	園務の一部を担い、園の組織についての理解を深めている。				
5	園の運営について自分のこととして考え、会議等において建設的な発言ができる。				

12.上司や同僚と協働して、円滑に園務を遂行する力

NO.	評価基準・具体的な行動例	A	B	C	気付き・評価理由
1	明るい挨拶や豊かな表情で、気持ちよく仕事ができるよう心掛けている。また、保育園組織の中での自分の役割を意識して仕事に取り組んでいる。	50	50	0	・まだまだできないことばかりだが、心掛けだけでも持っていたい。 ・明るいあいさつを心掛け、自分の役割を考え取り

					組んでいる。 ・自分の役割、仕事は責任を持ちできるよう常に意識し取り組んでいる。
2	職員の中で、自分の思いや考えを積極的に伝えている。	16.7	66.6	16.7	
3	自分から積極的に他の職員との協力・協働ができている。	16.7	66.6	16.7	・積極的に努めている。
4	他の職員の悩みやつまずきを一緒に悩んだり考えたり、必要に応じて上司に伝えたりできる。	0	66.7	33.3	・気付いたことは声を掛ける等している。 ・他の職員の手助けになるようにしたい。
5	研修で学んだことを園内で共有できている。				・研修資料を見ている。
6	必要に応じて上司に報告、連絡、相談し、円滑に園務を遂行できるようにしている。	16.7	66.6	16.7	・自己判断せずに指示を仰ぐ。

13.子どもが安心して過ごすことができる施設や遊具の安全な環境を整える力

NO.	評価基準・具体的な行動例	A	B	C	気付き・評価理由
1	園が作成した様々なマニュアル・ガイドラインを理解している。	16.7	50	33.3	
2	危機管理を意識し、それに沿った環境を整えている。	16.7	66.6	16.7	
3	保育前の安全点検全般の確認を行っている。	0	66.7	33.3	・ケガに繋がるものはないか注意している。
4	自然災害発生時の個々の動き、園全体の動きを意識し、訓練時には確実に実践している。	0	83.3	16.7	・訓練に集中して取り組んでいる。
5	不審者対応などについて、個々の動き、園全体の動きを意識し、訓練時には確実に実践している。	0	83.3	16.7	・実践できるようマニュアルを見ている。
6	アレルギーや与薬等、一人ひとりの状況を把握し確認しつつ対応するとともに、マニュアル・ガイドラインに沿った環境構成をしている。	16.7	50	33.3	・アレルギーの状況に変わりがないか確認している。
7	子どもの動線や清潔に配慮した環境構成をしている。	16.7	66.7	16.7	・おもちゃを放置せずケガの内容に心掛けている。
8	子どもの心身の状態、体調、怪我等子どもの変化を読み取り、適切な対応と共に上司への報告ができている。	33.3	50	16.7	

14.家庭や地域と連携し、子どもが危険から身を守り安全に行動できるように指導する力

NO.	評価基準・具体的な行動例	A	B	C	気付き・評価理由
1	園内外での安全や命を守るためのきまりに	16.7	50	33.3	

	ついて、子どもの発達に応じて子どもに理解させ、安全と危険の違いについての指導ができる。				
2	災害や事故などの際に行動できるよう、訓練を活かし日頃から工夫するよう意識している。	16.7	50	33.3	・事故が起こる可能性はあると意識しながら行動している。
3	園外活動の際には、自ら地域の方に気持ちよく挨拶をするなどを通して交流をもつとともに、万が一の際に避難させて頂ける場所を確認している。	16.7	33.3	50	・避難マップで確認した。
4	地域での事件等や災害時など、保護者に情報を提供している。				

15.保育者として自分の課題を発見し、自己研鑽していく力

NO.	評価基準・具体的な行動例	A	B	C	気付き・評価理由
1	日々の保育を楽しむ工夫をし、実践に繋がっている。	33.3	50	16.7	・子どもが興味のあることを一緒に楽しむようにしている。 ・紙芝居を読む際には自分のも楽しめるようにしている。
2	自分の保育を高める努力をしている。	33.3	50	16.7	・歌を覚えたいと思っている。
3	保護者に保育の内容を説明できる力を付ける努力をしている。				
4	研修に参加し自身が学ぶとともに、職員間でも共有できるよう努めている。				・パートも園外研修があればよいと思う。

16.乳幼児期の発達や学びを踏まえた教材研究をする力

NO.	評価基準・具体的な行動例	A	B	C	気付き・評価理由
1	子どもの発達に合った遊具や用具を自分なりに工夫して準備している。				・年齢や月齢に合った玩具等を担任に了承を得て提供している。
2	新しいものを取り入れる努力をしている。				・朝の玩具がマンネリ化してしまうので、新しいものを小出しにできると良いと思う。
3	子どもの発達を促すような遊具や用具を考え準備をしている。				・年齢や月齢に合った玩具等を担任に了承を得て提供している。
4	研修や書籍等、様々なツールで情報を得て、教材研究をしている。				・保育関連の本を意識して読むようにしている。
5	職員間で教材研究について情報共有し、技術が高まるような取り組みをしている。				

